



京都議定書の第1約束期間がスタート

京都議定書の第1約束期間がいよいよスタートしました。ご承知のとおり、日本は2012年までの5年間の平均で、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量を1990年比で6%削減する必要があります。環境省が発表した一昨年(2006年)の温室効果ガス排出量速報値によると、総排出量は前年度より1.3%減少して13億4,100万トンとなったものの、基準年(原則1990年)の総排出量と比べると依然6.4%上回っています。

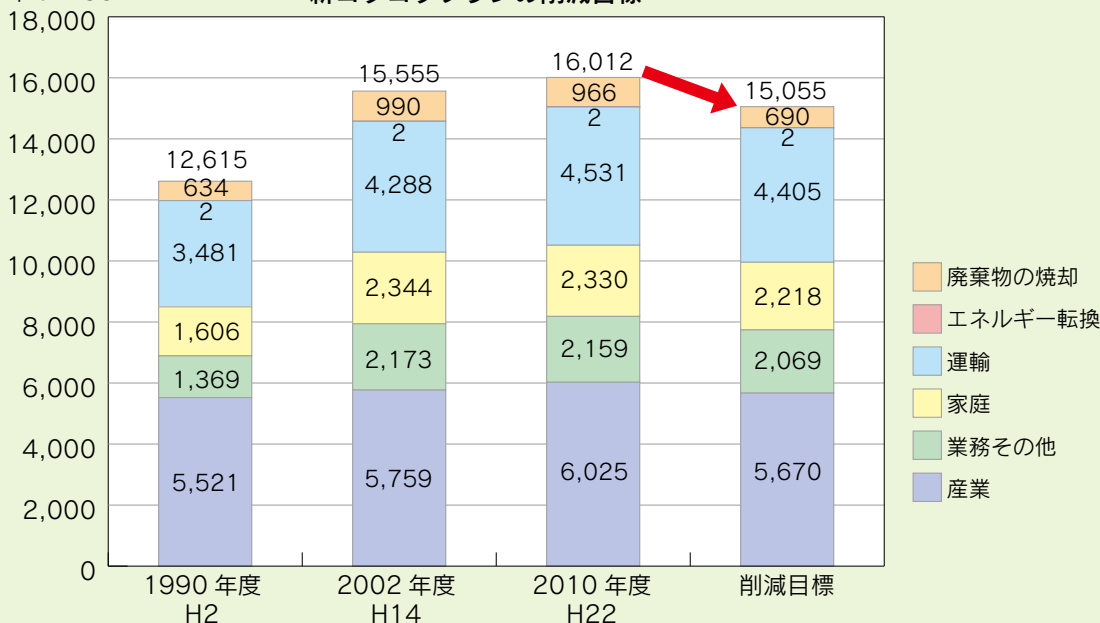
このような厳しい状況の中、国では昨年12月に「京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終報告案」が中央環境審議会地球環境部会から出され、追加対策等を盛り込んだ改正案が「地球温暖化対策の推進に関する法律」の改正案も合わせ、現在開会されている通常国会会期中に閣議決定・提出されるものと思われます。温暖化対策のもう一つの柱である省エネについても「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」の見直し作業を進めており、一部報道がなされたとおり、従来の工場単位から事業者単位のエネルギー管理規制の導入、フランチャイズ・チェーンに対するエネルギー管理規制の導入、複数企業による共同エネルギー管理を推進する制度の創設、住宅・建築物の省エネ性能の向上などが検討されており、法規制の対象となる事業者数の拡大が予想されます。

群馬県では第2次群馬県地球温暖化対策推進計画(新コツコツプラン)に基づき対策を進めていますが、県民・事業者を対象に現在温暖化問題に対する意識調査を行っており、今後の対策を検討する上での基礎資料にするほか、県民運動を盛り上げるため、多くの県民・事業者が取り組める県民アクションプランの来年度実施に向け、有識者や事業者等で組織する委員会を立ち上げ、作業を進めています。このほか温暖化対策に関する条例制定も視野に入れ、来年度の事業計画を検討しています。

このように温暖化対策が待たなしの状況になる中、認定事業者の皆さんにより実践的な情報が提供できるよう、今回の環境GSニュースから「GS事業者の横顔」のコーナーを開始します。ぐんまスタンダードで特に力を入れている取り組みや今後の抱負など事業者の生の声をご紹介します。今回は4ページの拡大版です。また、2月14日(木)に開催するマネージャー研修会では、認定事業者の中から2事業者に事例紹介をしていただくほか、講師に省エネルギーセンターの関井さんをお迎えし「企業における効果的な省エネ対策について」と題して、省エネ診断の事例紹介を中心に講演をいただきます。県では今後も環境GS認定制度が皆さんの環境に配慮した活動に役立つよう制度を運用したいと考えておりますので、ご意見ご要望等ございましたら県環境政策課までお寄せください。

千t-CO2

新コツコツプランの削減目標



GS事業者の横顔

ワイルカンパニー(株)



認定番号 180003
住 所 高崎市九蔵町108
電話番号 027-323-2129
従業員数 3人
代表者 品川 洋一
GSマネージャー 品川 洋一
サブマネージャー 品川竜二、品川 恵

わが社の一押し

当社は産業機器の商社であることから、社内での環境配慮への取り組みと環境配慮型商品の販売を両輪として環境活動に取り組んでいます。
一貫して梱包材のリサイクルに取り組むとともに、今期はCO₂抑制のためにエコドライブに力を注いでいます。エコドライブ10ヶ条のプレートを車内において運転者への啓蒙を行っています。

現場からひとこと

私たちの環境活動が会社の企業理念と一致するように心がけています。梱包材のリサイクルは日々の企業活動に定着しています。また、エコドライブ=余裕をもった運転ですから安全運転にも役立っています。

Gunma Standard

(株)町田工業



認定番号 180004
住 所 吉井町大字池779-12
電話番号 027-387-3800
従業員数 27人
代表者 高橋 達司
GSマネージャー 番場 敬輔
サブマネージャー 木村 俊三

わが社の一押し

弊社では省エネ対策として今年度は電気使用量の削減を重点課題として取り組んでいます。空調温度の適正化(暖房19℃冷房28℃)工場内作業エリアと包材品置場等との間仕切(カーテン)設置により空調温度の効率化、昼休み、休憩時間の工場内オール消灯によるムダ取り等がその取り組みの内容です。取り組みを通して従業員各自にムダに電気を使わないことの意識が高まっています。

現場からひとこと

省エネは各々がムダと気付いたら改める当たり前の感覚を実行し持続して行くことが大切で、そのような一人一人の行動が大きな力となっていくのだと感じています。

Gunma Standard

芝浦梱包運輸(株)



認定番号 180005
住 所 高崎市双葉町11-6
電話番号 027-323-6611
従業員数 98人
代表者 宮澤 寛
GSマネージャー 鈴木 孝幸
サブマネージャー 川島 常行

わが社の一押し

今年はゼロ・エミッションに重点的に取り組んでいます。特に印刷物等紙類については細かく裁断し、小さなビニール袋に詰め、梱包用の緩衝材としての利用を進めています。従来は「コブクロ」と称する緩衝材を購入していましたが、現在は廃材を利用して緩衝材を作ることにより、「ゴミの排出」をなくしました。同時に緩衝材の購入が無くなり、一石二丁の効果が出ています。このことで全社のゼロ・ミッションに対する意識も高まりました。

現場からひとこと

わが社は、10年あまり前から半導体用包装容器のリユースリサイクルを一つの事業としております。その事業を通じ、企業の社会的責任を自覚し、次世代へより良い環境を引き継ぎたいという思いで、取り組んできました。今後は更に「ゴミ・廃棄物」の限りなくゼロを目指した経営に取り組んでいきたいと考えております。

Gunma Standard

ゾーンケミカル(株)



認定番号 180006
住 所 板倉町海老瀬2082-1
電話番号 0276-82-1278
従業員数 17人
代表者 佐藤 清
GSマネージャー 佐藤 誠
サブマネージャー 江川 豊

わが社の一押し

前年度以前は、水資源の削減に重点を置き、設備の新設及び改善も終了しました。今年度は、原油価格の高騰からも車両・ボイラーの燃料の削減に取り組みたいと考えます。

本業である廃油の再生業務においても、安全・遵法・適正処理をスローガンに知恵を絞って改善を実行します。また、取引企業の方々にも機会があることに温暖化防止のための協力を訴えていきたいと存じます。

現場からひとこと

社内外の環境関連の勉強会では、新たなルール等にとまどっていましたが、業務の一貫として手順が組み込まれることにより、一人一人の小さな努力でも環境保全が図れることを感じましたので、継続して行きます。

Gunma Standard

(株)モミモ



認定番号 180019
住 所 桐生市相生町3-136-1
電話番号 0277-54-2345
従業員数 85人
代表者 上田 健昭
GSマネージャー 北村 正美
サブマネージャー 中島 泰良

わが社の一押し

地球温暖化対策として、省エネ及び廃棄物削減に積極的に取り組み社員一丸となり活動しております。

省エネ活動ではエネルギーの徹底的な無駄取りをテーマに掲げ、設備の駆動方式変更、生産待機時間のエネルギーロスの見直し、エアー消費削減やエアー漏れ改善等を実施しています。

廃棄物削減については社内での排出物の再利用化などリサイクル率向上に力を入れ活動しております。

現場からひとこと

当社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを深く認識し、全ての企業活動を通して、自然環境と継続的共生に努め豊かで安心できる環境の実施を目指しております。

Gunma Standard

(株)環境システムズ



廃棄物再資源化施設：本社工場

認定番号 180027
住 所 高崎市倉賀野町3250-7
電話番号 027-350-5353
従業員数 68人
代表者 塚田 敏則
GSマネージャー 絹川 淳二
サブマネージャー 大久保純二、安江春仁

わが社の一押し

当社は、業務に携る60台の車両全てでエコドライブの実施を行っております。また、長距離輸送時の大型化による運搬の効率化を併せ、日々発生するCO₂の削減に取り組んでおります。

また、自社のCO₂削減努力だけでなく、古紙・廃棄物のリサイクルを通じ、お客様にも低炭素社会実現への貢献を積極的に提案しております。

現場からひとこと

私たちは、日々の業務そのものが循環型社会の構築に結びつき、CO₂の削減と環境貢献につながっていることを自覚して業務を行っております。

今後とも、古紙や食品残さのリサイクルに対し徹底的に取り組むと共に、リサイクル時の効率化・省力化を進め、トータルとしての環境負荷の低減を目指してまいります。

Gunma Standard

田畑建設(株)



認定番号 180053
住 所 藤岡市小林326
電話番号 0274-22-2236
従業員数 60人
代表者 富澤 博邦
GSマネージャー 富澤 博邦
サブマネージャー 小澤偉久夫、清水尚樹

わが社の一押し

建設業である当社は、エネルギー問題を最重要課題としてとらえ、車両、重機類のアイドリングストップ運動（全車両、後部ガラスにステッカー貼付）を中心に、車両の相乗り、普通車から軽車両への切替え等を実施しています。

また、普段から不要な電気の消灯等、節約に努め、社員一丸となり更なる削減を目指しています。

現場からひとこと

地域に密着した事業であるため、地元の人たちから信頼感、安心感を得られるよう努力しております。特に建設現場においては、アイドリングストップによる車両、重機の騒音削減効果は評価を頂いております。

Gunma Standard

(株)鴛商



認定番号 180057
住 所 館林市苗木町2548
電話番号 0276-73-1343
従業員数 102人
代表者 鴛崎 勝一
GSマネージャー 鴛崎 隆広
サブマネージャー 島野 房子

わが社の一押し

『美しい街には夢がある』…私達の環境問題の結論です。

未来へ羽ばたく廃棄物処理の最先端を行く「次世代の再生事業」の構築の為、その幅広い分野の情報と研究を積み重ねて、紙から紙ではなく「紙から各種製品」の事業化への検討に取り組んでおります。今後、この事業化が実現できれば、必ずや温室効果ガス排出量の削減に貢献できるものと確信しております。

現場からひとこと

社員全員が環境改善に取り組む一端として、未使用となった雑紙類を自社の再生施設に持ち込む事を徹底しております。社内での日常業務の中で、「物の命」を全うする為に最後まで使い切っているかを自問自答する毎日です。

私達にできる小さな事から環境改善に心掛けて参ります。

Gunma Standard

金田運輸(有)



認定番号 180058
住 所 玉村町大字下新田534-2
電話番号 0270-65-2933
従業員数 48人
代表者 金田 充夫
GSマネージャー 長沼 謙治
サブマネージャー 金田知浩、金田ゆかり

わが社の一押し

今年度も引き続き「エコドライブ」の推進を行います。その為に必要なスキルを磨くため、教育・講習を昨年度以上に実施し、効果を社員全員に理解してもらい、業務にこだわらず普段の生活の中でも実施していけるように進めていきます。

現場からひとこと

昨年からは実施している「エコドライブ」は、毎日の僅かな気配りと少しの思いやりを持つことからスタートしましたが、その効果の大きさに改めて毎日の実施の重要性を認識しました。

今後も環境を守る為に、「エコドライブ」をはじめとした活動を継続してまいります。

Gunma Standard

生活協同組合コープぐんま



認定番号 180079
住 所 桐生市相生町1-111
電話番号 0277-52-7711
従業員数 771人
代表者 中嶋 源治

わが社の一押し

美しく豊かな自然環境に恵まれた「ふるさと群馬」を未来の子どもたちに引き継いでいくために、これまでのライフスタイルから、環境への負荷を減らすライフスタイルへと転換することが求められています。私たち生活協同組合コープぐんまは「ふるさと群馬の環境を保全し創造する」ための手段のひとつとして「レジ袋の削減」に取り組んでいます。

現場からひとこと

ミニコープ店舗では、以前より実施しておりましたが、平成20年3月21日よりコープ東久方店（桐生市）、コープ寺尾店（高崎市）において、レジ袋の有料化を実施し、当該店舗のレジ袋削減率70%以上の実現を目指していきます。

Gunma Standard

(株)東和銀行



認定番号 180130
住 所 前橋市本町2-12-9
電話番号 027-234-1111
従業員数 1382人
代表者 吉永 國光
GSマネージャー 角山 雅典
サブマネージャー 櫻井雄二、竹之内一朗

わが社の一押し

東和銀行は、環境保全や森林資源保護といった観点から、尾瀬の美しい自然を守っていくために、行員の自主的な活動として「尾瀬のゴミ持ち帰り運動」を、平成2年から継続的に実施しています。尾瀬の入山者に、当行が作ったオリジナルゴミ袋を配布しゴミの持ち帰りや自然保護を呼びかけるとともに、放置されたゴミの清掃活動などを行っています。

現場からひとこと

いま、地球環境問題が世界的規模で関心を集め注目されていますが、美しい地球を守り続けていくことは、私たち一人ひとりの責任です。

東和銀行は、企業の社会的責任を自覚し、尾瀬のゴミ持ち帰り運動をはじめ、クールビズの実施、室内温度の適切設定、未使用機器の節電、リサイクル製品の活用など環境に配慮した業務活動に努めています。

Gunma Standard

星野管工(株)



認定番号 180164
住 所 桐生市広沢町5-1449
電話番号 0277-54-4005
従業員数 27人
代表者 星野 正夫
GSマネージャー 杉田 秀夫
サブマネージャー 星野尚香、前川としや

わが社の一押し

こまめな節電が一番大変で重要な取り組みだと思えます。5年ほど前に、使用しなくなった社宅を壊し、その敷地に樹木・花木・ハーブ等を植え、更にビオトープを設けました。コンクリートだらけだった頃に比べ、夏場の体感温度や風の温度が下がったような気がします。また、太陽がひどく照りつける建物の南西面にヘチマ・瓢箪・ゴーヤを栽培して、緑のカーテンとしました。アブラムシがすごいなあ、と思っている間にナナホシ天道虫がやってきて大繁殖していました。おかげで近隣植物もアブラムシがだいぶ減りました。

現場からひとこと

空調・給排水衛生設備業として、エネルギー利用と日常生活を繋げる仕事であるからこそ、日々の業務の中で我々自身が強く省エネ・エコ意識を持つと共に、問題改善の為にほんの一滴の活動でも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

Gunma Standard



企業を訪問して感じることは、私たち一人一人が地球温暖化防止に対して前向きに意識を変えて行動していくことが、地球温暖化の防止活動として重要な取り組みだということです。その中で私が印象に残った地球温暖化の防止活動事例について紹介します。

1. 製造工場のエコドライブの取り組み

ある製造工場では約100台の社用車を所有しており、営業活動や運搬作業で車両から排出される二酸化炭素を削減する取り組みとしてJAF（(社)日本自動車連盟）のエコドライブを参考に活動を行っている。環境管理部が中心になりエコドライブを推奨するためのピラを配布したり、社用車の助手席にエコドライブを啓発するステッカーを貼ったりするなど従業員の意識改革に取り組んでいる。環境管理部長さんは、「今まで環境に関心なかった社員もアイドリングをやめるようになり、急発進、急加速をしないなどゆとりを持った運転を心掛けるようになってきた。またそれに伴い、給油量もエコドライブ導入前と比べると僅かではあるが少なくなってきた」とエコドライブの効果を話してくれた。

2. 小さな企業の地球温暖化防止活動の取り組み

パートさんが多いある小さな企業では、地球温暖化防止活動に対する従業員の理解を深めるため、会社帰りに買い物をする際はエコバックを利用してもらおうと、社長さんが従業員にエコバックを配布した。初めは抵抗があった従業員もお店のPRになり、実際にエコバック、マイバスケットを持って買い物をしている人たちを見て徐々に抵抗感も和らいでいったという。また、ゴミの分別作業に関心があった社長さんは、可燃物と不燃物のゴミ箱を用意してペットボトルの蓋と容器を分別して捨てるよう指示した。ゴミの分別活動を期待していた社長さんであったが、結果は自宅から水筒を持って来る従業員が増え、ペットボトルや空き缶などのゴミが減る結果になったと苦笑していた。

3. 組合で連携した地球温暖化防止活動の取り組み

ある製造組合では、今まで製造過程で環境にあまり配慮していなかった事実を真摯に受け止め、組合に加盟している各企業が連携して二酸化炭素排出量の削減活動を行い、各企業間での地球温暖化防止活動に関するモチベーションを高めている。現在、組合内に環境部会を設け、環境に関する勉強会や環境にやさしい商品づくりを行い地球温暖化防止活動に取り組んでいる。今後、組合として、自主行動計画や環境報告書の作成についても検討しているという。組合の環境部会長さんの話では「組合全体で取り組むことで中小企業と大手企業が足並みを揃えた環境活動に取り組むことが出来るようになった。各企業の地球温暖化防止活動に対する考え方も徐々にレベルアップしてきている」と手応えを話してくれた。

訪問した企業では、地球温暖化の防止活動に対して様々な取り組みがありましたが、共通して言えることは、ほとんどの企業が自分たちのできることから地球温暖化の防止活動に取り組んでいるということでした。

(財)群馬県産業支援機構からのお知らせ ～ぐんま産業創造倶楽部のご案内～

業種にとらわれない企業間の新たな連携を交流により会員企業の皆様の活性化を推進します！

■ 倶楽部のねらい

多種・多様な業種・業態の企業同士の交流・連携活動の場を提供することで、経営力の向上や企業活動の活性化を図り、地域経済を担う産業の育成や発展に貢献します。

■ 入会のメリット

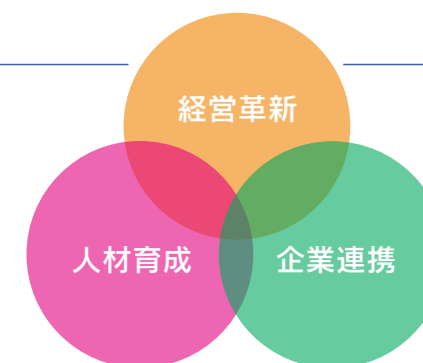
自社と違う分野の企業・経営者との交流会の中からビジネスチャンスや新たな連携が生まれ、新分野や経営改善への情報が得られます。

(財)群馬県産業支援機構が実施する各種セミナー・販路開拓・商談会等において、各種支援や参加料の割引を受けられます。

■ 事業内容

次の3つの柱を中心に事業を展開します。

- 1 時代に即したビジネスモデルの推進 (経営革新)
- 2 経営革新や技能伝承等を推進する人材の育成 (人材育成)
- 3 地域や会員企業のイメージアップや新産業の創出 (企業連携)



■ 入会資格

- 企業会員：倶楽部の目的にご賛同いただき、原則として県内に事業所を置き経営革新を実行する企業
- 賛助会員：倶楽部の目的にご賛同いただき、企業の経営革新を支援する大学、金融機関、企業支援機関等

■ 年会費

15,000円 (賛助会員は無料)

☆ 企業連携による競争力強化を目指します！

会員企業の皆様によるネットワークを形成し、連携・交流を強化することで、企業の皆様の活性化を図り、地域産業の発展に寄与することを目的としています。

☆ 会員相互の情報交換の場を積極的に作ります。

自分の属する業種・業界以外の企業や経営者と知り合い、「本音で経営の話をする場」「他社の取組や状況について情報収集や意見交換をする場」としてもご利用ください。

■ お問い合わせ・入会について

事務局 〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル2階
(財)群馬県産業支援機構内 ぐんま産業創造倶楽部事務局 (企業支援グループ)
TEL: 027-255-6503 FAX: 027-255-6161

創造倶楽部入会案内・申請書はこちらのホームページからも取得できます。
<http://www.g-inf.or.jp/club/bosyuu.html>
また、(財)群馬県産業支援機構にパンフレットもご用意しています。



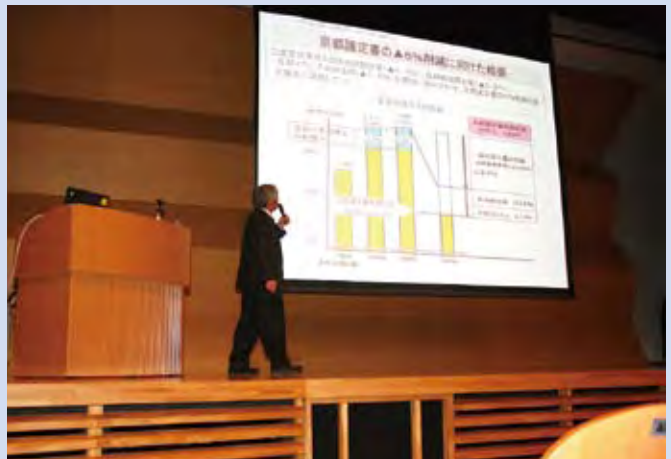
1 第1回環境GSマネージャー研修会を開催

12月6日、第1回環境GSマネージャー研修会を、講師に東洋大学国際地域学部の竹内章悟教授を迎えて、高崎市総合福祉センターで開催しました。

研修会では、まず事務局から環境GS事業者の認定状況や平成18年度実績報告書の取りまとめ概要など制度の運営状況のほか、平成18年度における県内の二酸化炭素排出状況について説明しました。

次に講演では、「資源価格の高騰と事業所の省エネ対策について」と題して、エネルギーと環境をめぐる最近の動きやエネルギー政策の概観について竹内教授からお話を伺いました。平成18年度に施行となった改正省エネ法のポイントや、「京都議定書目標達成計画」の見直しに向けた有識者の審議状況など国の温暖化対策の方向性や検討事項、また業界団体の動きなど幅広い案件について丁寧な解説をいただきました。

当日は環境GSマネージャーのほか、環境GS制度の運営委員、GS推進員などの関係者も交え、200名を超える出席者が参加。会場からは、中小企業の排出削減対策の重要性や地球全体の温度管理の必要性について質問が出るなど活発な質疑が行われました。



京都議定書目標達成計画について解説する竹内先生

2 エコドライブキャンペーン

多くの事業所で取り組まれているエコドライブですが、エコドライブとは地球に優しく（エコロジー）、家計にもやさしい（エコノミー）運転方法のことです。ご承知のとおり自動車の燃費は、ちょっとした気遣いで大きく変わります。

県では省エネ月間の2月に、エコドライブ普及のため、一般の県民の皆さんを対象に「エコドライブキャンペーン」を実施します。期間中はエコドライブの実践方法を記載したポケットティッシュを、ガソリンスタンドなどで配布しますので参考にしてください。

エコドライブのすすめ

- ・ふんわりアクセル「eスタート」 やさしい発進を心掛けましょう。最初の5秒で時速20キロを目安に発進するだけで、燃費は約10%改善します
- ・アイドリングストップ 駐車時には必ずエンジンを切るなど、アイドリングを控えましょう。10分間のアイドリングで約130mlの燃料を浪費します
- ・暖機運転は適切に エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。現在販売されているガソリン乗用車は暖機運転不要です



※詳しくはエコドライブ普及連絡会ホームページ

(<http://www.team-6.jp/ecodrive/10recommendation/index.html>) をご覧ください

※ 次回の環境GSニュースは3月に発行します

編集・発行

群馬県環境政策課
TEL：027-226-2817
群馬県産業支援機構
TEL：027-255-6561

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
FAX：027-243-7702
〒371-0854 前橋市大渡町1-10-7
FAX：027-255-6161



環境に優しい「大豆油インク」を使用しています